

## 12. 谷口西谷古墳群

たにぐちにしたにこふんぐん

所在地：吉田郡永平寺町谷口

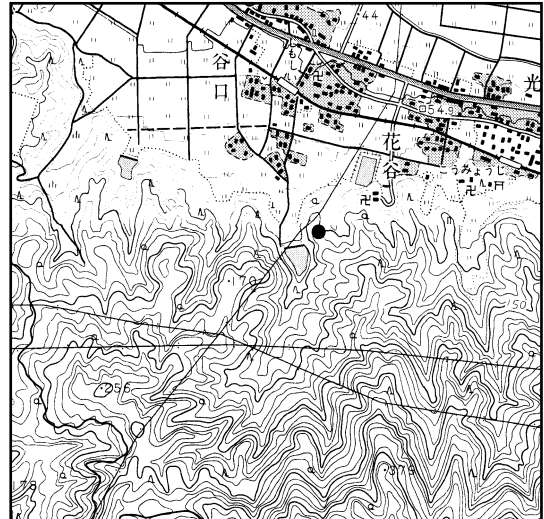
調査原因：中部縦貫自動車道建設事業

調査期間：平成 23 年 9 月 1 日～10 月 31 日

調査主体：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

調査面積：350 m<sup>2</sup>

時代：不明



位置図 (S=1/50,000)

**調査の概要** 谷口西谷古墳群は、越前中央山地の北麓、現在の永平寺町谷口集落の南東にある尾根の上にあります。高速道路用地外にも古墳状の高まりが存在しています。試掘調査の結果、溝状の遺構が確認できました。中部縦貫自動車道が建設されると、遺跡は破壊されてしまいます。このため、記録保存を目的として発掘調査を行いました。

**遺構** 遺構としては、段状遺構 1、ピット 1、土坑 1 を確認することができました。段状遺構は地山を削りだして作り出されていました。調査区外に連続していることが判明しています。周囲には拳大から人頭大の礫が散在していました。

土坑は試掘時に溝と思われていた遺構です。長さが 2.8m、幅 0.4m、深さが 1.6m 以上の規模がありました。内部から遺物が出土しておらず性格は不明です。

ピットは少し離れた東側斜面で確認されました。平面形が方形で、一辺 0.5m の規模があります。

**遺物** 今回の調査では遺物が出土していません。このため、遺構の時期や性格に不明な点が多く、確認できた遺構が古墳であるのか判断がつかない状態です。

**まとめ** 調査面積が 350 m<sup>2</sup> と狭小なこともあり、調査成果としては少し物足りない部分もありますが、今回の調査範囲には遺跡の主となる遺構は存在せず、むしろ工事範囲以外に遺跡が残されている可能性があります。文化財保護という立場からは、こちらのほうがよいと言えるかもしれません。

(宮崎 認)